

この度は、「薬剤師国家試験対策参考書[改訂第8版]⑤薬理」をご購入いただき、誠に有難うございます。

本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。

ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナール編集 青本[改訂第8版]⑤薬理 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
P3 図	●用量-反応曲線	● <u>集団における</u> 用量-反応曲線
P3 図 1行目	・試験動物の半数に効果が現れる……	・試験動物の半数に <u>基礎となる</u> 効果が現れる……
P6 MEMO 逆作動薬 下から3行目	……機能(自然活性)……	……機能(<u>基礎</u> 活性)……
P6 図と表の間	……用いて表すことができる。	……用いて <u>一個体において</u> 表すことができる。
P6 表 1~2行目	……。最大反応の50% 反応する作動薬のモル濃度(EC_{50})の負の対数、すなわち $pD_2 = -\log(EC_{50}^{*4})$ である	……。 <u>基準となる効果の最大反応の50%の反応を引き起こすのに要する</u> 作動薬のモル濃度(EC_{50})の負の対数値、すなわち $pD_2 = -\log(EC_{50}^{*4})$ で表される
P32 MEMO 3行目	…のような α -7,4-グル…	…のような α - <u>1,4</u> -グル…
P45 問11 解説3 2行目	…。一方、ピレンゼピンは、選択的 M_1 受容体遮断薬であり、…	…。一方、ピレンゼピンは、 <u>M_1 受容体を遮断し、</u> …
P64 d)粘膜炎適用 3行目	……直腸の下方(内腸骨動脈で吸収)……	……直腸の下方(内腸骨 <u>静脈</u> で吸収)……
P110 表 アルプレノロールの行		削除
P110 MEMO *3の下		<u>アルプレノロール</u> <u>非選択的 β 受容体遮断薬。ISA(+)、MSA(+)</u> 。(現在用いられていない)
P226 MEMO		<u>ヒドロモルフォン</u> <u>麻薬性鎮痛薬。 δ 受容体、κ 受容体よりも μ 受容体に対し高い親和性を示す。</u> <u>(適応)</u> <u>中等度から高度の疼痛に伴う各種がんにおける鎮痛</u>
P227 MEMO	ヒドロモルフォン 非麻薬性鎮痛薬。……における鎮痛	削除
P475 MEMO	P-CAB=Potassium Competitive Acid…	P-CAB=Potassium Competitive Acid…
P480 問1 解説4	… <u>選択的</u> M_1 受容体遮断薬であり、…	… <u>M_1 受容体を遮断し、</u> …
P493 見出し	5 潰瘍性大腸炎治療薬、クローン病治療薬	<u>6</u> 潰瘍性大腸炎治療薬、クローン病治療薬
P494 見出し	6 健胃消化薬	<u>7</u> 健胃消化薬
P651 HMG-CoA 還元酵素阻害薬 特徴 下から2行目	<原則併用禁忌> フィブラート系薬	削除

P653 フィブラート系薬 特徴 下から2行目	<原則併用禁忌> スタチン系薬	削除
P747 表 <腎性貧血治療薬>	エポエチンベータペゴル)*2	エポエチンベータペゴル)*2)
P834 表 オキサセフェム系 フロモキシセフ(注射)	第三世代	<u>第二世代</u>
P847 6行目	……はともに、①経口投与で用いられる、 ②II型トポイソメラーゼであるDNAジャイレース……	……はともに、II型トポイソメラーゼであるDNAジャイレース……

※本書記載の参照頁“→「第○章 ○.○.○ ……」p.○参照”は、該当の内容が記載されている○.○.○が始まる頁を示しております。